



学校長あいさつ

校長 坂井 文明

「やればできる みがけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて」

橋小学校は、明治八年に創立され、百五十年目を迎える歴史と伝統のある学校です。

令和6年度は、27名の関係する職員と133名の児童でのスタートです。

心機一転（あることをきっかけとして、新たな気持ちや態度でやり直す）、新しい気持ちでやる気をもって、「やればできる みがけば光る 一歩でも前進 続けて 続けて」児童信条の精神でがんばっていきたいと思います。

めざす児童像は、知・徳・体のバランスの取れた子どもです。

「知」は、知識の知 「かしこい子」です。しっかり先生や友達の話聞くことができ、むずかしい問題もあきらめずに粘り強く考えることができ、進んで発表できる子どもです。

「徳」は、道徳の徳 「やさしい子」です。だれにでも元気のよいあいさつができて、友達にはぼかぼか言葉（あたたかい言葉）が言え、友達が困っているときは、支えあうことができる子どもです。

「体」は、体育の体 「たくましい子」です。きまりをしっかり守って、なんでも弱音を吐かず、最後まで一生懸命にがんばる子どもです。

「かしこく やさしく たくましい」子どもを育てるために、「三つの和」を大切にしたいと思います。

三つの和の一つは、「学校の友達と先生との和」です。前からの友だち、これからできる新しい友達を大切にし、悩むときには、その友達に相談し、一緒に遊び楽しみ、先生は、勉強の専門家ですから、先生の言うことをよく聞いて、たくさんのことを吸収し、明るく楽しい輝いた学校生活を送ってほしいと思います。

二つ目の和は、「家庭との和」です。家に帰ったら、お父さんやお母さん、お姉さんお兄さん、弟や妹、おじいちゃんおばあちゃんなどが、あたたかく支えてくれると思います。

三つ目の和は、「地域との和」です。地域には、交通安全のお手伝いや行事などで子どもたちを支えてくださるサポーターの方がたくさんいらっしゃいます。

この子どもたちを支えていただく強力な三つの和を大切にして、「生きる力を身に着け、学校・家庭・地域の思いを受け継ぐときわっ子の育成」に職員一同励んでいきます。

元
正
天
皇
御
製
歌
碑



初夏に香り高い白い花
を咲かせるタチバナ

